学位授与方針と各科目の関連（看護学部看護学科）

ディプロマ・ポリシー（DP）／DPルーブリック

タキソノミー4領域

知識・理解：【知】

思考・判断・表現：【判】

技能：【技】

関心・意欲・態度：【関】

			DP 1：人々の尊厳と権利を擁護するための看護倫理観に基づいた判断・行動をとることができる				DP 2：社会的・文化的背景を踏まえて自己や他者を包括的に理解し、尊重できる				DP 3：看護専門職として関わる人とコミュニケーションをとり、パートナーシップを形成できる				DP 4：人々の多様な健康課題に対し基礎的知識と技術を活用して解決できる				DP 5：保健・医療・福祉チームにおいて看護専門職として多職種と協働できる				DP 6：研究的態度を持ち継続して学び、成長できる				備考
			L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	
			【知／判】人間の尊厳と権利、価値に関する知識を有し、その重要性を理解できる 【関】人間のもつ尊厳に関心を示す	【知／判】看護の対象となる人々の尊厳と権利を認め、その立場にたち倫理的に適切に関わる姿勢を持つことができる 【関】看護の対象となる人々の立場を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断・行動ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を解決しようとする態度を示す	【判】人々の地域の特性や社会的・文化的背景を含めた多様性を知り、自己表現によって言動や価値観の振り返りができる 【関】他者への関心を持つ	【判】日々の体験や学びの場を通して、自己を振り返り客観視できる 【関】多様性のある他者を理解しようとする姿勢を示す	【判】グローバルな視野で地域の特性や多様性を知り、看護実践を通して、自己を内省する力を高め、他者の価値観を尊重できる	【判】社会的・文化的背景を踏まえて人々を包括的に理解し、他者を尊重し自己の在り様を含めて評価できる	【知】看護におけるコミュニケーションの重要性と基本姿勢を理解できる 【技】他者の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を適切な表現を用いて発信できる（技能）	【知】援助的関係の基本となるコミュニケーションやパートナーシップの重要性を理解できる 【関】看護の対象となる人へ関心を寄せることができる 【技】看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり、相手の考えや思いに共感できる	【知】看護専門職者の援助的関係を形成するパートナーとしての役割が理解できる 【技】看護の対象となる人とコミュニケーションをとり互いの考えや思いを伝え合える 【関】看護の対象となる人へ専門職として関心を寄せることができる	【知】看護の対象となる人の思いや考えに共感し、とも（共）にゴール（目標）に向かう専門的援助関係を形成し評価できる 【関】看護専門職として、対象となる人々と援助的関係を形成しようとする態度を示す	【知】基礎的な専門知識や看護技術の重要性を理解できる 【技】基礎的な専門的技術を修得できる 【関】人々の健康課題に関心を示す	【知】基礎的専門知識・技術を理解できる 【判】対象の健康課題や解決方法を判断できる 【技】課題を見出し、計画を立案・実施・評価できる 【関】人々の健康課題に関心をもち、関わろうとする態度を示す	【知】対象特性・健康レベルに応じた生活・看護上のニーズを理解できる 【技】様々な健康レベル・発達段階にある対象の健康課題を明確化し、看護を実施・評価できる 【関】対象の健康課題を解決しようとする態度を示す	【知／判】対象特性に応じて理論・概念を活用し、科学的根拠に基づく課題解決の重要性を理解できる 【技】専門的知識・技術を活用して課題を見出し、解決するための計画を立案・実践・評価できる 【関】多様な健康課題をもつ対象に関心を寄せ、共に課題解決する態度を示す	【知】保健・医療・福祉における多職種の種類と役割を知り、チームで連携していることを理解できる	【知】看護の専門性を理解し、多職種の連携を理解できる	【判】看護専門職の役割を理解し、看護学生として多職種との協働を一部実施することができる	【判】看護専門職としての役割を理解し、看護学生として多職種と協働することができる	【知／関】継続して学習することの必要性を理解し、自ら調べ、課題に合った学習ができる	【知／関】学びの経験を通して、自分の強み・弱みを理解し、課題を見出し探求できる	【知／関】科学的根拠に基づいた看護の重要性を理解し、主体的に課題に対して取り組むことができる	【知／関】保健・医療・福祉に関するテーマを見出し、看護研究のプロセスを通して、研究的態度を持ち、系統立てて論理的に記述できる	
科目区分	分野	時間割名	◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン入門	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ（A）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ（B）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ（C）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ（A）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ（B）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ（C）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUインターンシップⅠ（事前指導）	○				○				○								○				◎				
全学共通科目	教養分野	KGUインターンシップⅡ（実習）	○				○				○								○				○				
共通科目	教養分野	キリスト教学	◎				◎				○																
共通科目	教養分野	コンピュータ・リテラシー（A）	○				○				○				○								◎				
共通科目	教養分野	コンピュータ・リテラシー（B）	○				○				○				○								◎				
共通科目	教養分野	生物学	○				○				○				◎								◎				
共通科目	教養分野	心理学	○				◎				○				○								○				
共通科目	教養分野	倫理学	◎				◎																○				
共通科目	教養分野	哲学	◎				◎																○				
共通科目	教養分野	ジェンダー論	◎				◎																○				
共通科目	教養分野	文化人類学	○				◎				○												○				
共通科目	教養分野	教育学	○				○				◎				○								○				
共通科目	教養分野	日本国憲法	◎				○				○																
共通科目	教養分野	法と社会生活	◎				○				○																
共通科目	教養分野	経済学					○																○				
共通科目	教養分野	経営学					○																○				
共通科目	教養分野	社会学	◎				◎				○				○												
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（行政）	○				○				○								○				○				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（経済）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（政治）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（スポーツ）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（歴史・文化）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（自然）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（健康）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（地域づくり）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	KGUかながわ学（地域安全）	○				○				○								○				◎				
共通科目	教養分野	数値データ処理（A）																					◎				
共通科目	教養分野	数値データ処理（B）																					◎				
共通科目	教養分野	生物と環境					○				○												○				
共通科目	教養分野	化学基礎					○				○												○				

学位授与方針と各科目の関連（看護学部看護学科）

ディプロマ・ポリシー（DP）／DPルーブリック

タキソノミー4領域

知識・理解：【知】

思考・判断・表現：【判】

技能：【技】

関心・意欲・態度：【関】

			DP 1：人々の尊厳と権利を擁護するための看護倫理観に基づいた判断・行動をとることができる				DP 2：社会的・文化的背景を踏まえて自己や他者を包括的に理解し、尊重できる				DP 3：看護専門職として関わる人とコミュニケーションをとり、パートナーシップを形成できる				DP 4：人々の多様な健康課題に対し基礎的知識と技術を活用して解決できる				DP 5：保健・医療・福祉チームにおいて看護専門職として多職種と協働できる				DP 6：研究的態度を持ち継続して学び、成長できる				備考
			L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	
			【知／判】人間の尊厳と権利、価値に関する知識を有し、その重要性を理解できる 【関】人間のもつ尊厳に関心を示す	【知／判】看護の対象となる人々の尊厳と権利を認め、その立場にたち倫理的に適切に関わる姿勢を持つことができる 【関】看護の対象となる人々の立場を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断・行動ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を解決しようとする態度を示す	【判】人々の地域の特性や社会的・文化的背景を含めた多様性を知り、自己表現によって言動や価値観の振り返りができる 【関】他者への関心を持つ	【判】日々の体験や学びの場を通して、自己を振り返り客観視できる 【関】多様性のある他者を理解しようとする姿勢を示す	【判】グローバルな視野で地域の特性や多様性を知り、看護実践を通して、自己を内省する力を高め、他者の価値観を尊重できる	【判】社会的・文化的背景を踏まえて人々を包括的に理解し、他者を尊重し自己の在り様を含めて評価できる	【知】看護におけるコミュニケーションの重要性と基本姿勢を理解できる 【技】他者の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を適切な表現を用いて発信できる（技能）	【知】援助的関係の基本となるコミュニケーションやパートナーシップの重要性を理解できる 【関】看護の対象となる人へ関心を寄せることができる 【技】看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり、相手の考えや思いに共感できる	【知】看護専門職者の援助的関係を形成するパートナーとしての役割が理解できる 【技】看護の対象となる人とコミュニケーションをとり互いの考えや思いを伝え合える 【関】看護の対象となる人へ専門職として関心を寄せることができる	【知】看護の対象となる人の思いや考えに共感し、とも（共）にゴール（目標）に向かう専門的援助関係を形成し評価できる 【関】看護専門職として、対象となる人々と援助的関係を形成しようとする態度を示す	【知】基礎的な専門知識や看護技術の重要性を理解できる 【技】基礎的な専門的技術を修得できる 【関】人々の健康課題に関心を示す	【知】基礎的専門知識・技術を理解できる 【判】対象の健康課題や解決方法を判断できる 【技】課題を見出し、計画を立案・実施・評価できる 【関】人々の健康課題に関心をもち、関わろうとする態度を示す	【知】対象特性・健康レベルに応じた生活・看護上のニーズを理解できる 【技】様々な健康レベル・発達段階にある対象の健康課題を明確化し、看護を実施・評価できる 【関】対象の健康課題を解決しようとする態度を示す	【知／判】対象特性に応じて理論・概念を活用し、科学的根拠に基づく課題解決の重要性を理解できる 【技】専門的知識・技術を活用して課題を見出し、解決するための計画を立案・実践・評価できる 【関】多様な健康課題をもつ対象に関心を寄せ、共に課題解決する態度を示す	【知】保健・医療・福祉における多職種の種類と役割を知り、チームで連携していることを理解できる	【知】看護の専門性を理解し、多職種の連携を理解できる	【判】看護専門職の役割を理解し、看護学生として多職種との協働を一部実施することができる	【判】看護専門職としての役割を理解し、看護学生として多職種と協働することができる	【知／関】継続して学習することの必要性を理解し、自ら調べ、課題に合った学習ができる	【知／関】学びの経験を通して、自分の強み・弱みを理解し、課題を見出し探求できる	【知／関】科学的根拠に基づいた看護の重要性を理解し、主体的に課題に対して取り組むことができる	【知／関】保健・医療・福祉に関するテーマを見出し、看護研究のプロセスを通して、研究的態度を持ち、系統立てて論理的に記述できる	
科目区分	分野	時間割名	◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		
共通科目	教養分野	文学	○				○																◎				
共通科目	教養分野	美術史	○	○			○																○	○			
共通科目	教養分野	科学史					○																○				
共通科目	教養分野	健康スポーツⅠ（A）（卓球他）					○				○												○				
共通科目	教養分野	健康スポーツⅠ（H）（運動処方）					○				○												○				
共通科目	教養分野	健康スポーツⅡ（A）（バドミントン）					○				○												○				
共通科目	教養分野	健康スポーツⅡ（H）（運動処方）					○				○												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅰ（初級）（A）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅰ（初級）（B）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅰ（中級）（A）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅰ（中級）（B）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅱ（初級）（A）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅱ（初級）（B）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅱ（中級）（A）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅱ（中級）（B）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	英語Ⅲ（上級1）（A）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	英語Ⅲ（上級1）（B）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	英語Ⅲ（上級2）（A）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	英語Ⅲ（上級2）（B）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	ドイツ語Ⅰ（初級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ドイツ語Ⅰ（中級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ドイツ語Ⅱ（初級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ドイツ語Ⅱ（中級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ドイツ語Ⅲ（上級1）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	ドイツ語Ⅳ（上級2）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	中国語Ⅰ（初級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	中国語Ⅰ（中級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	中国語Ⅱ（初級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	中国語Ⅱ（中級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	中国語Ⅲ（上級1）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	中国語Ⅳ（上級2）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	ハングルⅠ（初級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ハングルⅠ（中級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ハングルⅡ（初級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ハングルⅡ（中級）					○				◎												○				
共通科目	外国語分野	ハングルⅢ（上級1）						○				◎												○			
共通科目	外国語分野	ハングルⅣ（上級2）						○				◎												○			
共通科目	その他分野	海外語学演習（英語）（春学期認定）					○				◎												○				

学位授与方針と各科目の関連（看護学部看護学科）

ディプロマ・ポリシー（DP）／DPルーブリック

タキソノミー4領域

知識・理解：【知】

思考・判断・表現：【判】

技能：【技】

関心・意欲・態度：【関】

			DP 1：人々の尊厳と権利を擁護するための看護倫理観に基づいた判断・行動をとることができる				DP 2：社会的・文化的背景を踏まえて自己や他者を包括的に理解し、尊重できる				DP 3：看護専門職として関わる人とコミュニケーションをとり、パートナーシップを形成できる				DP 4：人々の多様な健康課題に対し基礎的知識と技術を活用して解決できる				DP 5：保健・医療・福祉チームにおいて看護専門職として多職種と協働できる				DP 6：研究的態度を持ち継続して学び、成長できる				備考
			L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	
			【知／判】人間の尊厳と権利、価値に関する知識を有し、その重要性を理解できる 【関】人間のもつ尊厳に関心を示す	【知／判】看護の対象となる人々の尊厳と権利を認め、その立場にたち倫理的に適切に関わる姿勢を持つことができる 【関】看護の対象となる人々の立場を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断・行動ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を解決しようとする態度を示す	【判】人々の地域の特性や社会的・文化的背景を含めた多様性を知り、自己表現によって言動や価値観の振り返りができる 【関】他者への関心を持つ	【判】日々の体験や学びの場を通して、自己を振り返り客観視できる 【関】多様性のある他者を理解しようとする姿勢を示す	【判】グローバルな視野で地域の特性や多様性を知り、看護実践を通して、自己を内省する力を高め、他者の価値観を尊重できる	【判】社会的・文化的背景を踏まえて人々を包括的に理解し、他者を尊重し自己の在り様を含めて評価できる	【知】看護におけるコミュニケーションの重要性と基本姿勢を理解できる 【技】他者の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を適切な表現を用いて発信できる（技能）	【知】援助的関係の基本となるコミュニケーションやパートナーシップの重要性を理解できる 【関】看護の対象となる人へ関心を寄せることができる 【技】看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり、相手の考えや思いに共感できる	【知】看護専門職者の援助的関係を形成するパートナーとしての役割が理解できる 【技】看護の対象となる人とコミュニケーションをとり互いの考えや思いを伝え合える 【関】看護の対象となる人へ専門職として関心を寄せることができる	【知】看護の対象となる人の思いや考えに共感し、とも（共）にゴール（目標）に向かう専門的援助関係を形成し評価できる 【関】看護専門職として、対象となる人々と援助的関係を形成しようとする態度を示す	【知】基礎的な専門知識や看護技術の重要性を理解できる 【技】基礎的な専門的技術を修得できる 【関】人々の健康課題に関心を示す	【知】基礎的専門知識・技術を理解できる 【判】対象の健康課題や解決方法を判断できる 【技】課題を見出し、計画を立案・実施・評価できる 【関】人々の健康課題に関心をもち、関わろうとする態度を示す	【知】対象特性・健康レベルに応じた生活・看護上のニーズを理解できる 【技】様々な健康レベル・発達段階にある対象の健康課題を明確化し、看護を実施・評価できる 【関】対象の健康課題を解決しようとする態度を示す	【知／判】対象特性に応じて理論・概念を活用し、科学的根拠に基づく課題解決の重要性を理解できる 【技】専門的知識・技術を活用して課題を見出し、解決するための計画を立案・実践・評価できる 【関】多様な健康課題をもつ対象に関心を寄せ、共に課題解決する態度を示す	【知】保健・医療・福祉における多職種の種類と役割を知り、チームで連携していることを理解できる	【知】看護の専門性を理解し、多職種の連携を理解できる	【判】看護専門職の役割を理解し、看護学生として多職種との協働を一部実施することができる	【判】看護専門職としての役割を理解し、看護学生として多職種と協働することができる	【知／関】継続して学習することの必要性を理解し、自ら調べ、課題に合った学習ができる	【知／関】学びの経験を通して、自分の強み・弱みを理解し、課題を見出し探求できる	【知／関】科学的根拠に基づいた看護の重要性を理解し、主体的に課題に対して取り組むことができる	【知／関】保健・医療・福祉に関するテーマを見出し、看護研究のプロセスを通して、研究的態度を持ち、系統立てて論理的に記述できる	
科目区分	分野	時間割名	◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		
共通科目	その他分野	海外語学演習（英語）（秋学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（中国語）（春学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（中国語）（秋学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（韓国語）（春学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（韓国語）（秋学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（フランス語）（春学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（フランス語）（秋学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（ドイツ語）（春学期認定）					○				◎												○				
共通科目	その他分野	海外語学演習（ドイツ語）（秋学期認定）					○				◎												○				
専門科目	専門基礎	身体の構造と機能Ⅰ													◎								○				
専門科目	専門基礎	身体の構造と機能Ⅱ													◎								○				
専門科目	専門基礎	生化学													○								○				
専門科目	専門基礎	薬と生体反応（臨床薬理学）														○											
専門科目	専門基礎	感染と免疫（微生物学）													○				○								
専門科目	専門基礎	健康と栄養														○				◎							
専門科目	専門基礎	病理・病態学													○												
専門科目	専門基礎	病態・治療学Ⅰ		○								○				○				○				○			
専門科目	専門基礎	病態・治療学Ⅱ		○								○				○				○				○			
専門科目	専門基礎	病態・治療学Ⅲ		○								○				○				○				○			
専門科目	専門基礎	小児病態・治療学		◎				○				○				○				○				○			
専門科目	専門基礎	精神病態・治療学		◎				◎				○				○				◎				○			
専門科目	専門基礎	臨床検査													○												
専門科目	専門基礎	臨床心理学	◎				○				○				○								○				
専門科目	専門基礎	生涯発達学	◎				◎				○				○				○				○				
専門科目	専門基礎	対人関係論	○				○				◎				○				○				○				
専門科目	専門基礎	社会保障制度	○												◎				○								
専門科目	専門基礎	保健福祉行政論					○								○				○								
専門科目	専門基礎	公衆衛生		○				○																			
専門科目	専門基礎	保健医療統計学														○								○			
専門科目	専門基礎	健康論					○								○												
専門科目	基礎看護学	看護の基礎	◎				○				◎				○				◎				◎				
専門科目	基礎看護学	生活と看護	◎				○				○				○								○				
専門科目	基礎看護学	環境と看護	◎				○				○				○								○				
専門科目	基礎看護学	看護原論	◎				○				○																
専門科目	基礎看護学	基礎看護技術Ⅰ	○				○				◎				○								◎				
専門科目	基礎看護学	基礎看護技術Ⅱ		◎				○				○				○							◎				
専門科目	基礎看護学	基礎看護技術Ⅲ		○				○				◎												◎			
専門科目	基礎看護学	フィジカルアセスメント		◎								○				○								◎			

学位授与方針と各科目の関連（看護学部看護学科）

ディプロマ・ポリシー（DP）／DPルーブリック

タキソノミー4領域

知識・理解：【知】

思考・判断・表現：【判】

技能：【技】

関心・意欲・態度：【関】

DP 1：人々の尊厳と権利を擁護するための看護倫理観に基づいた判断・行動をとることができる			
L1	L2	L3	L4
【知／判】人間の尊厳と権利、価値に関する知識を有し、その重要性を理解できる 【関】人間のもつ尊厳に関心を示す	【知／判】看護の対象となる人々の尊厳と権利を認め、その立場にたち倫理的に適切に関わる姿勢を持つことができる 【関】看護の対象となる人々の立場を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断・行動ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を解決しようとする態度を示す

DP 2：社会的・文化的背景を踏まえて自己や他者を包括的に理解し、尊重できる			
L1	L2	L3	L4
【判】人々の地域の特性や社会的・文化的背景を含めた多様性を知り、自己表現によって言動や価値観の振り返りができる 【関】他者への関心を持つ	【判】日々の体験や学びの場を通して、自己を振り返り客観視できる 【関】多様性のある他者を理解しようとする姿勢を示す	【判】グローバルな視野で地域の特性や多様性を知り、看護実践を通して、自己を内省する力を高め、他者の価値観を尊重できる	【判】社会的・文化的背景を踏まえて人々を包括的に理解し、他者を尊重し自己の在り様を含めて評価できる

DP 3：看護専門職として関わる人とコミュニケーションをとり、パートナーシップを形成できる			
L1	L2	L3	L4
【知】看護におけるコミュニケーションの重要性と基本姿勢を理解できる 【技】他者の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を適切な表現を用いて発信できる（技能）	【知】援助的関係の基本となるコミュニケーションやパートナーシップの重要性を理解できる 【関】看護の対象となる人へ関心を寄せることができる 【技】看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり、相手の考えや思いに共感できる	【知】看護専門職者の援助的関係を形成するパートナーとしての役割が理解できる 【技】看護の対象となる人とコミュニケーションをとり互いの考えや思いを伝え合える 【関】看護の対象となる人へ専門職として関心を寄せることができる	【知】看護の対象となる人の思いや考えに共感し、とも（共）にゴール（目標）に向かう専門的援助関係を形成し評価できる 【関】看護専門職として、対象となる人々と援助的関係を形成しようとする態度を示す

DP 4：人々の多様な健康課題に対し基礎的知識と技術を活用して解決できる			
L1	L2	L3	L4
【知】基礎的な専門知識や看護技術の重要性を理解できる 【技】基礎的な専門的技術を修得できる 【関】人々の健康課題に関心を示す	【知】基礎的専門知識・技術を理解できる 【判】対象の健康課題や解決方法を判断できる 【技】課題を見出し、計画を立案・実施・評価できる 【関】人々の健康課題に関心をもち、関わろうとする態度を示す	【知】対象特性・健康レベルに応じた生活・看護上のニーズを理解できる 【技】様々な健康レベル・発達段階にある対象の健康課題を明確化し、看護を実施・評価できる 【関】対象の健康課題を解決しようとする態度を示す	【知／判】対象特性に応じて理論・概念を活用し、科学的根拠に基づく課題解決の重要性を理解できる 【技】専門的知識・技術を活用して課題を見出し、解決するための計画を立案・実践・評価できる 【関】多様な健康課題をもつ対象に関心を寄せ、共に課題解決する態度を示す

DP 5：保健・医療・福祉チームにおいて看護専門職として多職種と協働できる			
L1	L2	L3	L4
【知】保健・医療・福祉における多職種の種類と役割を知り、チームで連携していることを理解できる	【知】看護の専門性を理解し、多職種の連携を理解できる	【判】看護専門職の役割を理解し、看護学生として多職種との協働を一部実施することができる	【判】看護専門職としての役割を理解し、看護学生として多職種と協働することができる

DP 6：研究的態度を持ち継続して学び、成長できる			
L1	L2	L3	L4
【知／関】継続して学習することの必要性を理解し、自ら調べ、課題に合った学習ができる	【知／関】学びの経験を通して、自分の強み・弱みを理解し、課題を見出し探求できる	【知／関】科学的根拠に基づいた看護の重要性を理解し、主体的に課題に対して取り組むことができる	【知／関】保健・医療・福祉に関するテーマを見出し、看護研究のプロセスを通して、研究的態度を持ち、系統立てて論理的に記述できる

科目区分	分野	時間割名	DP 1 L1	DP 1 L2	DP 1 L3	DP 1 L4	DP 2 L1	DP 2 L2	DP 2 L3	DP 2 L4	DP 3 L1	DP 3 L2	DP 3 L3	DP 3 L4	DP 4 L1	DP 4 L2	DP 4 L3	DP 4 L4	DP 5 L1	DP 5 L2	DP 5 L3	DP 5 L4	DP 6 L1	DP 6 L2	DP 6 L3	DP 6 L4	備考
			◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		
専門科目	基礎看護学	看護過程		○				○				○				○							◎				
専門科目	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ	◎				◎				◎				○				◎				◎				
専門科目	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅱ		◎				◎				◎				◎				○				◎			
専門科目	生活支援看護学	母性看護学概論	○				○												○				○				
専門科目	生活支援看護学	母性看護学援助論		○				○				○				◎								○			
専門科目	生活支援看護学	母性看護学演習			○				○				◎				◎								◎		
専門科目	生活支援看護学	母性看護学実習			○				◎				◎				◎				◎				◎		
専門科目	生活支援看護学	小児看護学概論	◎				◎				○				○								◎				
専門科目	生活支援看護学	小児看護学援助論Ⅰ		◎				◎				○				○				◎				○			
専門科目	生活支援看護学	小児看護学援助論Ⅱ		◎				◎				○				○				◎				○			
専門科目	生活支援看護学	小児看護学演習			◎				○				○				○				○				○		
専門科目	生活支援看護学	小児看護学実習Ⅰ			◎				○				◎				○				○				◎		
専門科目	生活支援看護学	小児看護学実習Ⅱ			◎				○				◎				◎				◎				◎		
専門科目	生活支援看護学	老年看護学概論		◎				◎				◎				○				◎				◎			
専門科目	生活支援看護学	老年看護学援助論			◎				○				◎				○			◎				◎			
専門科目	生活支援看護学	老年看護学演習			◎				◎				◎				◎				○				◎		
専門科目	生活支援看護学	老年看護学実習Ⅰ			◎				◎				◎				◎				◎				◎		
専門科目	生活支援看護学	老年看護学実習Ⅱ			◎				◎				◎				◎				◎				◎		
専門科目	生活支援看護学	精神看護学概論		◎				○				○				○				○				○			
専門科目	生活支援看護学	精神看護学援助論		◎				◎				◎				○				○				○			
専門科目	生活支援看護学	精神看護学演習			◎				○				○				○				○				○		
専門科目	生活支援看護学	精神看護学実習Ⅰ			◎				○				◎				○				◎				○		
専門科目	生活支援看護学	精神看護学実習Ⅱ			◎				○				◎				◎				◎				◎		
専門科目	生活支援看護学	在宅看護学概論		◎				○								○											
専門科目	生活支援看護学	在宅看護援助論Ⅰ											○				○										
専門科目	生活支援看護学	在宅看護援助論Ⅱ								○								◎								◎	
専門科目	生活支援看護学	在宅看護学演習							◎				○				◎				◎				◎		
専門科目	生活支援看護学	在宅看護学実習Ⅰ								◎				○				◎				◎				○	
専門科目	生活支援看護学	在宅看護実習Ⅱ								○				○				◎				○				○	
専門科目	療養支援看護学	成人看護学概論	○				○				○				◎				○				○				
専門科目	療養支援看護学	急性期看護学援助論		○				○				○				○				○				○			
専門科目	療養支援看護学	急性期看護学演習		○				○				○				◎				○				○			
専門科目	療養支援看護学	慢性期看護学援助論			○				○				○				○				○				◎		
専門科目	療養支援看護学	慢性期看護学演習			◎				○				○				◎				○				◎		
専門科目	療養支援看護学	成人看護学実践論			◎				◎				◎				◎				○				◎		
専門科目	療養支援看護学	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）			◎				◎				◎				◎				◎				◎		
専門科目	療養支援看護学	成人看護学実習Ⅱ				○				○				○				◎				○					
専門科目	療養支援看護学	成人看護学実習Ⅲ				◎				◎				◎				◎				◎				○	

学位授与方針と各科目の関連（看護学部看護学科）

ディプロマ・ポリシー（DP）／DPルーブリック

タキソノミー4領域

知識・理解：【知】

思考・判断・表現：【判】

技能：【技】

関心・意欲・態度：【関】

			DP 1：人々の尊厳と権利を擁護するための看護倫理観に基づいた判断・行動をとることができる				DP 2：社会的・文化的背景を踏まえて自己や他者を包括的に理解し、尊重できる				DP 3：看護専門職として関わる人とコミュニケーションをとり、パートナーシップを形成できる				DP 4：人々の多様な健康課題に対し基礎的知識と技術を活用して解決できる				DP 5：保健・医療・福祉チームにおいて看護専門職として多職種と協働できる				DP 6：研究的態度を持ち継続して学び、成長できる				備考
			L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4	
			【知／判】人間の尊厳と権利、価値に関する知識を有し、その重要性を理解できる 【関】人間のもつ尊厳に関心を示す	【知／判】看護の対象となる人々の尊厳と権利を認め、その立場にたち倫理的に適切に関わる姿勢を持つことができる 【関】看護の対象となる人々の立場を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を理解しようとする態度を示す	【知／判】多様な価値観、信条や生活背景を持つ人々の尊厳と権利を擁護するための判断・行動ができる 【関】看護の対象となる人々の倫理的課題を解決しようとする態度を示す	【判】人々の地域の特性や社会的・文化的背景を含めた多様性を知り、自己表現によって言動や価値観の振り返りができる 【関】他者への関心を持つ	【判】日々の体験や学びの場を通して、自己を振り返り客観視できる 【関】多様性のある他者を理解しようとする姿勢を示す	【判】グローバルな視野で地域の特性や多様性を知り、看護実践を通して、自己を内省する力を高め、他者の価値観を尊重できる	【判】社会的・文化的背景を踏まえて人々を包括的に理解し、他者を尊重し自己の在り様を含めて評価できる	【知】看護におけるコミュニケーションの重要性と基本姿勢を理解できる 【技】他者の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を適切な表現を用いて発信できる（技能）	【知】援助的関係の基本となるコミュニケーションやパートナーシップの重要性を理解できる 【関】看護の対象となる人へ関心を寄せることができる 【技】看護の対象となる人などとコミュニケーションをとり、相手の考えや思いに共感できる	【知】看護専門職者の援助的関係を形成するパートナーとしての役割が理解できる 【技】看護の対象となる人とコミュニケーションをとり互いの考えや思いを伝え合える 【関】看護の対象となる人へ専門職として関心を寄せることができる	【知】看護の対象となる人の思いや考えに共感し、とも（共）にゴール（目標）に向かう専門的援助関係を形成し評価できる 【関】看護専門職として、対象となる人々と援助的関係を形成しようとする態度を示す	【知】基礎的な専門知識や看護技術の重要性を理解できる 【技】基礎的な専門的技術を修得できる 【関】人々の健康課題に関心を示す	【知】基礎的専門知識・技術を理解できる 【判】対象の健康課題や解決方法を判断できる 【技】課題を見出し、計画を立案・実施・評価できる 【関】人々の健康課題に関心をもち、関わろうとする態度を示す	【知】対象特性・健康レベルに応じた生活・看護上のニーズを理解できる 【技】様々な健康レベル・発達段階にある対象の健康課題を明確化し、看護を実施・評価できる 【関】対象の健康課題を解決しようとする態度を示す	【知／判】対象特性に応じて理論・概念を活用し、科学的根拠に基づく課題解決の重要性を理解できる 【技】専門的知識・技術を活用して課題を見出し、解決するための計画を立案・実践・評価できる 【関】多様な健康課題をもつ対象に関心を寄せ、共に課題解決する態度を示す	【知】保健・医療・福祉における多職種の種類と役割を知り、チームで連携していることを理解できる	【知】看護の専門性を理解し、多職種の連携を理解できる	【判】看護専門職の役割を理解し、看護学生として多職種との協働を一部実施することができる	【判】看護専門職としての役割を理解し、看護学生として多職種と協働することができる	【知／関】継続して学習することの必要性を理解し、自ら調べ、課題に合った学習ができる	【知／関】学びの経験を通して、自分の強み・弱みを理解し、課題を見出し探求できる	【知／関】科学的根拠に基づいた看護の重要性を理解し、主体的に課題に対して取り組むことができる	【知／関】保健・医療・福祉に関するテーマを見出し、看護研究のプロセスを通して、研究的態度を持ち、系統立てて論理的に記述できる	
科目区分	分野	時間割名	◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		◎（すべての項目が当てはまる）		○（一部の項目が当てはまる）		
専門科目	統合看護学	家族看護学Ⅰ	○				○				◎								◎				○				
専門科目	統合看護学	家族看護学Ⅱ		○				○				◎								◎				○			
専門科目	統合看護学	地域看護学概論		◎				○				○				○				○							
専門科目	統合看護学	感染看護学																									
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅰ（KGUナースへの道しるべ）	○				○				○												○				
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（基礎）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（母性）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（小児）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（老年）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（精神）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（在宅）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅱ（強化コース・論文講読）（成人）				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（基礎）				◎				◎				○				○				◎				○	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（母性）				◎				◎				◎				◎				◎				○	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（小児）				◎				◎				◎				◎				○				○	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（老年）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（精神）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（在宅）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護の統合と実践Ⅲ（強化コース・看護実習）（成人）				◎				◎				○				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究方法論				◎				○				○				○								◎	
専門科目	統合看護学	災害看護学				◎				○				○				○				○				○	
専門科目	統合看護学	国際看護論				○				◎				○													
専門科目	統合看護学	看護マネジメント				○				○				○				◎				○				○	
専門科目	統合看護学	看護教育学				○				○				◎				◎				○				○	
専門科目	統合看護学	保健医療福祉連携								○								○				○					
専門科目	統合看護学	看護研究（基礎）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究（母性）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究（小児）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究（老年）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究（精神）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究（在宅）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	
専門科目	統合看護学	看護研究（成人）				◎				◎				◎				◎				◎				◎	